

## 1 中期学校経営方針

### (1) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりを大切にしながら、上菅田の「まち」とともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力を向上させます。</li> <li>・一人ひとりが自己有用感をもつとともに、他者を尊重しながら楽しく学校生活が送れるようにします。</li> <li>・心も体も元気であるための生活習慣が形成できるようにします。</li> <li>・上菅田の「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、地域の人と活動する心を育てます。</li> <li>・日本の良さと特色を学び、世界の平和を考える子どもに育てます。</li> </ul>

### (2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上菅田小学校スタンダード」に則って全職員が同じ価値観・同じ姿勢で生活指導を行っていく。</li> <li>・地域行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚と奉仕する心と活動を促していく。</li> <li>・人権教育と連動して人思いやる心を育てていく。</li> </ul>
担当	道徳部

## 2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」に関わる課題）

本校の児童は落ち着いて学習に取り組み、誰とでも仲よくしている。地域行事にも進んで参加している。もっとよい自分になりたいという気持ちがある半面、自尊感情が低く、自分の思いを表現することが苦手でコミュニケーション能力が不足している。道徳的価値は知っているが実践できない面がある。

## 3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

### 【項目 道徳教育】道徳科を要とした学校の教育活動全体を通じた道徳教育（必須項目）

- ・全教育活動を通して行う道徳教育と各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
- ・教科書（かがやけ みらい）を用いて、道徳的価値について自ら考え、実際に行動できるようになる子どもを育てる。
- ・全学級の道徳の授業公開を年1回以上実施する。
- ・道徳サポートブックを活用し、道徳の時間のカリキュラムマネジメントを推進する。
- ・家庭や地域との様子についてアンケートを実施し、子どもの実態把握を行い道徳の時間に活用する。

### 【項目 人権教育】

- ・人権教育全体計画を作成し、子どもの社会的スキル横浜プログラムを位置づけ、それに基づいて教育活動を行う。
- ・人権尊重の精神を基盤とする学校づくりを行うために授業をはじめとして「学習活動づくり」、人権が尊重される「人間関係づくり」を推進する。